

平成29年11月24日

清水町議会議長 加 来 良 明 様

清水町議会厚生文教常任委員会  
委員長 木 村 好 孝

## 所 管 事 務 調 査 に つ い て

常任委員会活動として行う所管事務調査について、このたび調査を終えたので、その結果を下記のとおり報告いたします。

### 記

1. 調査事項 保育施設の整備について
2. 調査期日 平成29年10月23日、11月8日～9日、  
11月17日
3. 調査先 訓子府町、美唄市

#### 4. 調査の結果

本町において、保育所の建設事業が進められることになったことを踏まえ、本町が想定する約200人規模の公立の施設である訓子府町認定こども園「わくわく園」と平屋が多い中で3階建てである美唄市立ピパの子保育園を訪問し、調査（事前研修・事後研修を含む）を実施した。

## 【訓子府町認定こども園「わくわく園」】

### (1) 建設の概要

- ・敷地面積 9,884.02 m<sup>2</sup>
- ・延床面積 2,080.68 m<sup>2</sup>
- ・建物構造 木造平屋建
- ・建設事業費 1,206,617 千円

### (2) 建設の経過

老朽化した幼稚園・保育所を統合し、0歳から5歳までの200名が定員（平成29年4月現在、170名入所）の町立幼保連携型認定こども園として、保育部が0歳1クラス、1～2歳各2クラス、幼稚園部3～5歳が各2クラスの学級編成で平成28年4月1日に開設している。

建設に当たっては7社によるプロポーザルが行われ、審査員として保育士全員が参加し、総勢60名による審査では90%以上の賛同を得て業者選定が行われている。設計者と直接保育に関わる現場の保育士等が意見をぶつけ合いながらつくられたことから、現場主義で非常に効率の良い施設となっている。

### (3) 建設の特徴

#### ①中庭を取り囲む一体感のあるコンパクトな園舎

保育室は年齢ごとに独立性を持った落ち着いた環境である。芝生の中庭（はだしの庭）を中心とした行き止まりのない回遊性のある廊下でつながることで、周囲から目が行き届き、園舎全体に一体感が生まれ、異年齢や障がいを持つ園児が自然に「ふれあい」や「たすけあい」ができる場を目指している。

#### ②地域産の特性が最大限に活かされた温もりのある園舎

町産カラマツの集成材を採用した木造で、床材は姉妹町の高知県津野町産材ヒノキを使用しており、外壁は建築の際に出た現場掘削土を練り込んだレンガタイルを採用するなど準耐火建築物とすることで、繊細な構造表現となっている。

#### ③環境に優しく、温かく風通しの良い園舎

外張り断熱工法と断熱サッシ・超高断熱ガラスを採用し、夏は

中庭を通して風が通り抜けて涼しく、冬は温度ムラのない快適な環境で、地中熱を利用した床冷暖房や太陽光発電・蓄電設備の採用など、自然エネルギーを利用した環境に優しい園舎を目指している。何よりも、自然光の明るさが、すがすがしく快適で、木造との調和が取れている園舎となっている。

#### ④その他の特徴

木のぬくもりを感じながら裸足で思い切って走り回ることのできる天井の高さが 5.5m の「遊戯室」とボルダリングやロープ登りが楽しめる「プレイウォール」の広々とした園舎内空間があり、＜0～5歳児全ての子どもたちの健やかな育ちの保障＞を特色とする施設である。園庭に特徴的なデザインの木製遊具が設置されている。旧幼稚園に設置されていた飛行遊具を修復し、園庭が見渡せる特等席に移設している。

### (4) 運営の状況

#### ①幼保一体化の目的と魅力ある「こども園」の特徴

- ・子どもの最善の利益の尊重を第一義にした養護と教育の一体化を大切にしている活動が行われている。
- ・子育て支援の担当職員や保健師、栄養士を配置し、子育て支援センターとの連携による地域の子育て支援活動が行われている。
- ・移動キッチンの活用などによる成長段階に合わせた調理体験や地域食材の活用、生産者とのふれあいによる食育を中心とした地域連携と完全給食の提供が行われている。
- ・教育・保育時間の設定の工夫により就園を希望する6か月から就学前までの全ての乳幼児が入園可能な制度整備による保護者の就労支援やニーズに配慮した運営が行われている。

#### ②教育・保育の指針と目標

基本的コンセプトを「未来にきらめく子どもたちに生きる力を」とし、たくさんの自然、クラス保育・縦割り保育・合同行事、食育活動、地域とのつながり、思いを実現できる環境、のびのび生活できる環境、おいしい自園内給食・地域食材、充実した遊具、

リズム運動と遊びの項目が挙げられた中で、教育・保育の指針と目標が設定されている。

## 【美唄市立ピパの子保育園】

### (1) 建設の概要

- ・敷地面積 9,114.97 m<sup>2</sup>
- ・延床面積 2,076.11 m<sup>2</sup>
- ・建物構造 鉄筋コンクリート造 3階建
- ・建設事業費 440,403,153 円

### (2) 建設の経過

第6期美唄市総合計画及び次世代育成支援美唄市行動計画において、老朽化している保育所整備の検討が掲げられ、市内3か所の公立保育所の利用者からも建設の要望が多く寄せられていた。少子化の影響で全体の入所児童数の減少が今後更に見込まれるが、3歳未満児の保育ニーズは依然として高く推移しており、現状の建物の状態ではニーズへの対応が難しいことから、保育士を中心としたワーキングチームでの検討や保護者アンケートの結果を踏まえて、保育所の再編（統合）実施と園舎建設への方向付けがなされた。園舎については、駅周辺で利便性が良く、建設費用の軽減や建物の有効利用が図られること、保育ニーズに対応できる環境整備ができることから、平成27年3月末に閉校した北海道中央コンピュータ・カレッジ（情報処理技能者養成施設）の施設を改修し、平成28年4月1日から開園している。

### (3) 建設の特徴

#### ① 新たな3階建てという条件を生かす保育環境整備

- ・広い窓からの自然光、用途によって開放可能な可動式壁で明るく開放的な保健室を設置。「木育」の一環として、木のぬくもりで優しく落ち着ける内装が実現された環境整備がなされている。
- ・感染症や体調管理面の充実が図られ、安定した保育環境のため

に0歳から2歳児の保育室及び2階交流ホール（午睡室）に空調設備が設置され、3階には児童の身体的機能向上のための全児童が集合できる遊戯室の整備がなされている。

- ・安全な給食提供のため、調理員専用トイレの調理室内設置や空調設備の設置がなされている。また、保護者と保育士等が面談する相談室の設置もされている。

#### ② 3階建て園舎の安全・防犯・環境負荷軽減対策

- ・建物は耐震性、耐火性を備えているが、2階以上に保育室があるため、防火設備及び避難用滑り台の新設等がなされており、階段の段差改修、手すり設置や柱・建具・棚等の面取りも施され、ドアの指詰め防止金具の取り付けなど細かな安全への配慮がされている。
- ・感染防止のための手洗い設備の温水機能の設置などの環境衛生面での対策もなされている。
- ・防犯カメラが玄関と各階、各室に設置され、長時間記録も可能となっており、3階の職員室から園児の活動や安全の見守りもなされている。
- ・照明は居室・廊下にLEDを採用し、長寿命・省電力化を実施し、ライフスタイルにおける環境負担軽減の工夫もされている。

#### (4) 運営の状況

##### ① 特色ある保育

- ・年齢別保育により子どもの心身の発達状況に応じた適切な保育を行い、フェイスブックを活用した情報発信も行っている。
- ・幼児期からの運動支援の取り組み（運動遊び・サッカー教室・体育教室等）を専門家の指導も受けながら実施している。
- ・大型スクリーンを使った視覚や聴覚に訴えた保育を実施し、ALTによる英会話教室も月に1回実施している。
- ・花育（植物を育むことが心豊かな人間形成に役立つ）を花育グループが中心となり、種まきから、水やり、草取り、収穫そしてまた種取りとつなぐ保育を実践している。
- ・園舎の立地条件（市の中心地）を生かし、地域との連携（幼稚

園・小学校との交流、中学校・高校の職場体験・交流学習)、地域の公園や施設の利用など、3階建ての建物から外への広がりに向けた取り組みが重視されている。

## 【まとめ】

保育所・幼稚園の統合、認定こども園への移行に向けた新たな施設建設に向けて、2か所の視察を行った。

今回の視察は、本町の財政状況、保護者や町民のニーズに応じていく上で、意義のある内容であった。

両施設に共通することは、財源問題を含め地域的条件、自然条件を最大限に生かした建設であること。現在、保育所等の整備に係る国・道からの補助制度はなく、何らかの工夫をしなければ全額町の負担とならざるを得ない。そうした現状では建設予算と町の財源を明らかにし、建物のイメージを明らかにしていくことが必要であり、第1の課題である。

また、保護者をはじめ幼稚園・保育所の職員、市・町の行政に携わる職員の意見が施設設備の細部にわたって生かされ、防災・防火、環境衛生はもとより安全対策がなされている。食育をはじめ地域連携を重視した運営方針を掲げるなど、教育・保育の目標が明確に定められており、その運営方針に沿った施設が造られ、地域ぐるみの子育て環境づくりを進めている。これらも両施設に共通する取り組みである。

保育施設の建設に向けては、本町としての地域的条件、自然条件を生かしていく上でもアンケート等の町民意見の反映はもちろんのこと、保護者・保育士など関係者との意見交換を重ねることが重要である。

少子化への対策が今後の課題となっており、認定こども園の設置に向けて、幼稚園・保育所の整備計画を進行していくが、幼児期の教育・保育は安全で安心な環境のもと、子どものよりよい育ちを実現することにほかならない。このような環境づくりのために行政としては、子ども・子育てに対する町民の関心や理解を高

めることが重要である。本委員会としては今回の視察内容を生かして積極的な意見反映への役割を果たしていくこととし、調査報告とする。

<資料> :

## 【訓子府町認定こども園「わくわく園」】

### ○訓子府町の概要

- ・人口 : 5,141 人 (平成 29 年 3 月)
- ・世帯数 : 2,071 世帯
- ・年少人口 : 606 人 (11.8%)
- ・老年人口 : 1,885 人 (36.7%)
- ・面積 : 190.95 km<sup>2</sup>

### ○建設の状況について

- ・敷地面積 : 9,884.02 m<sup>2</sup>
- ・延床面積 : 2,080.68 m<sup>2</sup>
- ・建物構造 : 木造平屋建 (町産材集成材)、準耐火建築物
- ・建設事業費 : 1,206,617 千円  
(内訳 : 建設工事費 907,092 千円、再生可能エネルギー施設整備費 104,220 千円、外構工事費 86,508 千円、解体工事費 27,389 円、設計・工事監理費 53,460 千円、備品等 23,617 千円、その他事業費 4,331 千円)

### ・財源内訳

補助金 : 412,223 千円

(内訳 : 森林整備加速化・林業再生交付金 309,766 千円、北海道再生可能エネルギー等導入推進事業補助金 102,457 千円)

### ・町費 : 794,394 千円

(内訳 : 起債 320,000 千円、基金 470,000 千円、一般財源 4,394 千円)

### ○運営の状況について

- ・児童定員 : 200 名
- ・クラス編成 : (保育園部) 0 歳児 1 クラス 9 名、1 歳児 2 クラス 12 名、2 歳児 2 クラス 21 名  
(幼稚園部) 3 歳児 2 学級 28 名、4 歳児 2 学級



56名、5歳児2学級44名

在籍園児数合計170名（平成29年4月現在）

- ・入園資格：6か月から就学前の乳幼児で、保護者の就労等、保育を必要とする要件がなくても全ての該当年齢の子どもが入園できる。また、子育て応援保育として、町民以外に里帰り出産、介護・看護等の一時帰省等、町内事業所への通勤者等が利用できる制度がある。
- ・職員数：園長・副園長・主幹保育教諭・保育教諭19名、支援員・保育補助員9名、保健師・管理栄養士・調理員3名、代替保育士
- ・保育時間：保育を必要とする要件に照らし合わせて、保育の必要量を審査して認定を受ける。
  - ・教育標準認定者 8:30～13:00（午後の預かり保育制度あり）
  - ・保育短時間認定者 8:30～16:30
  - ・保育標準認定者 7:30～18:30
- ・保育料：①非課税・均等割世帯の第2子以降は全額補助、②課税世帯の第2子は3分の2補助（うち3歳未満児の第2子以降全額補助）、③課税世帯の第3子以降は全額補助する

#### ○特色ある保育・教育

教育・保育時間の設定を工夫し、保護者の就労支援やニーズに配慮した運営に努めている。

##### ①教育・保育指針（平成28年4月制定）

- ・ニコニコ たくましく 元気な子
- ・きらきら 心豊かな やさしい子
- ・わくわく考え 工夫する子

##### ②教育・保育目標（平成28年4月制定）

- ・自然に親しみ、元気に遊ぶ子
- ・心豊かで 思いやりのある子

- ・ しっかり考え 進んで取り組む子
- ・ 健康で 明るくあいさつができる子

### ③経営の基本方針

- ・ 認定こども園は、教育基本法に則り、学校及び児童福祉施設としての性格及び機能を兼ね備えた施設として、一貫した就学前教育・保育活動を進める。
- ・ 認定こども園法及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき保育課程・教育課程を編成し、養護と教育の一体性を大切にした教育・保育を進める。
- ・ 子ども子育て支援法の趣旨に則り、子育て支援センター、保健師、他機関と連携し、地域の子育て支援及び特別支援教育の充実を図る。
- ・ 教育公務員法特例法の趣旨に則り、計画的な研修活動を推進し、保育教諭の資質向上を図る。
- ・ 就労支援、子育て支援としての保育機能の充実を図り、安心・安全の教育・保育活動を進める。
- ・ 子育て未来課と連動した事務・会議等の効率化及び担当分掌の責任と、認定こども園としての協働体制の確立を図る。

## 【美唄市立ピパの子保育園】

### ○美唄市の概要

- ・ 人口：22,543 人（平成 29 年 3 月）
- ・ 世帯数：11,898 世帯
- ・ 年少人口：1,827 人（8.1%）
- ・ 老年人口：9,046 人（40.1%）
- ・ 面積：277.69 km<sup>2</sup>

### ○建設の状況について

- ・ 敷地面積：9,114.97 m<sup>2</sup>
- ・ 延床面積：2,076.11 m<sup>2</sup>

（1 階：649.82 m<sup>2</sup>、2 階：693.02 m<sup>2</sup>、3 階：693.02 m<sup>2</sup>、P H 面積 40.25 m<sup>2</sup>）

- ・建物構造：鉄筋コンクリート造 3階建
- ・建設費：事業費 440,403,153円（平成27年度）  
（内訳：工事請負費 413,910,000円、使用料及び賃貸料 6,257,196円、備品購入費 20,235,957円）
- ・財源内訳：児童福祉施設整備債（工事請負費）、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金〈地方創生先行型〉（使用料及び賃借料、備品購入費）

※賃貸料は平成28年度～平成31年度まで継続で4年間合計金額は50,830,775円、その後は買い取りとする。

- ・設計費：21,070,800円（平成26年度）  
（内訳：保育所改修実施設計委託料 14,580,000円、保育所屋外遊戯場等実施設計委託料 6,490,800円）
- ・財源内訳：がんばる地域交付金補助金

#### ○運営の状況について

- ・児童定員：150人  
（平成29年11月現在、児童数128人、入所率85.33%）
- ・クラス編成：乳児6人、1歳児20人、2歳児22人、3歳児24人、4歳児30人、5歳児26人
- ・職員体制：園長1名、副園長1名、保育士長1名、主任保育士5名、正規保育士6名、嘱託保育士8名、臨時保育士1名、管理栄養士1名、臨時公務補1名、嘱託調理員1名、臨時調理員2名、事務職正規職員1名、事務職嘱託職員1名、合計30名
- ・保育時間：保育標準時間 7:30～18:30（11時間）  
短時間保育 保育標準時間のうち8時間以内  
延長時間 18:30～19:30（1時間）
- ・保育料：多子世帯における保護者の経済的負担の軽減を図るため、第2子以降で3歳未満の児童の保育料を補助する。

#### ○特色ある保育等

- ・年齢別保育により子どもの心身の発達状況に応じた適切な保

育。

- ・ I C T 電子機器を活用した情報発信、セキュリティ管理。
- ・ 幼児期からの運動支援事業の取り組み。
- ・ 大型スクリーンを使った視覚や聴覚に訴えた保育。
- ・ A L T による英会話教室。
- ・ 花育（植物を育むことで心豊かな人間形成に役立つ）。
- ・ 地域との連携（幼稚園・小学校との交流、中学校・高校の職場体験・交流学習）。
- ・ 2階・3階に保育室があることから、らせん状の避難用滑り台を新設し避難訓練を実施（4分程度で全員避難完了）。
- ・ 階段には児童も安全に使用できる手すりを設置（児童用に段差を改修）。
- ・ 児童が通常立ち入る部分にある柱、建具、棚など面取りを施す。
- ・ 児童の安全を考えたドアの指詰め防止器具を取り付ける。
- ・ エレベーターを現行基準に改修し安全性を図る。
- ・ 各室の鍵やスイッチ、コンセントは幼児の手の届かない高さに設定。
- ・ 防犯カメラを玄関と各階、各室に設置し長時間記録も可能。